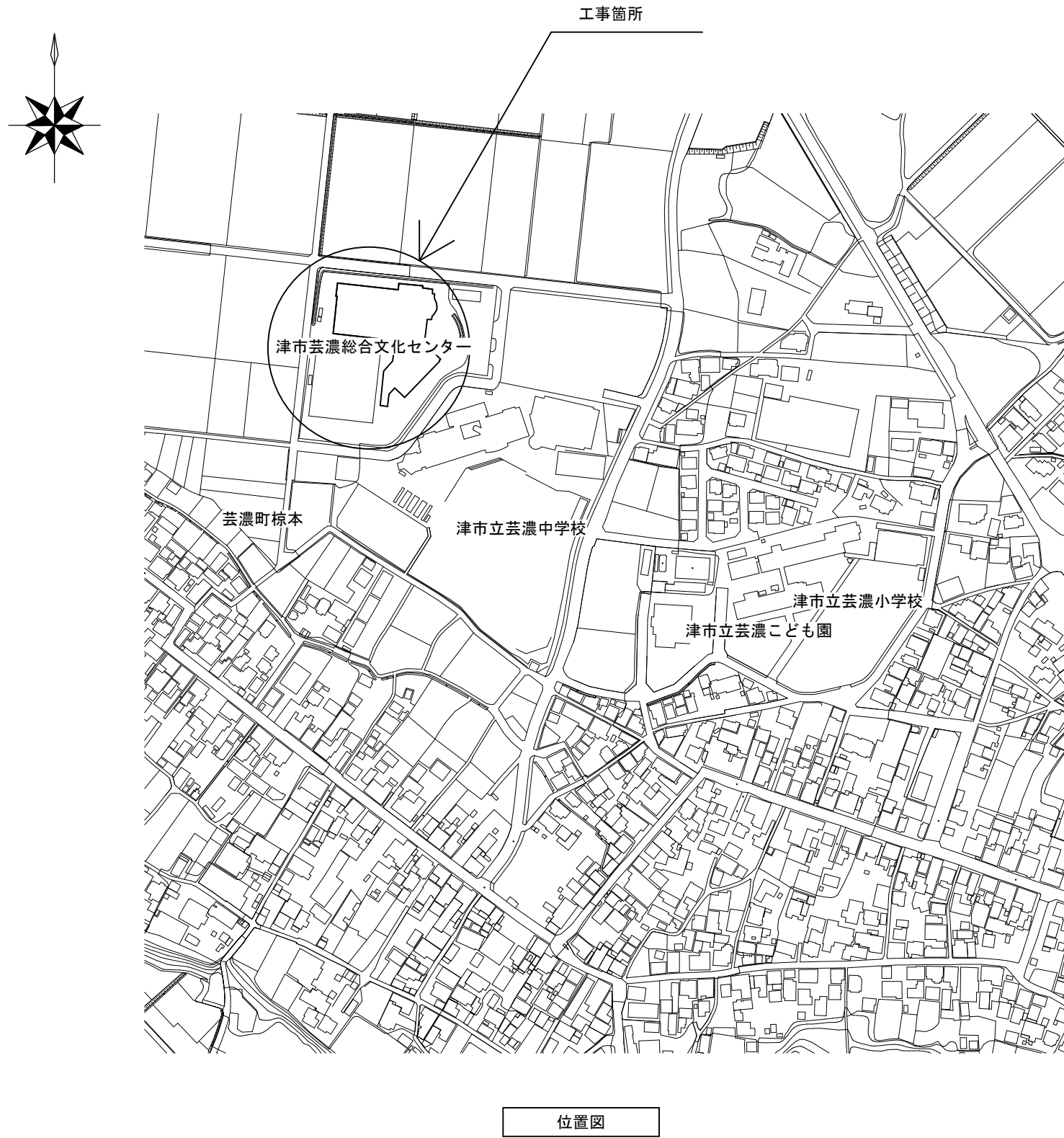




位置図

特記事項

(工事概要)

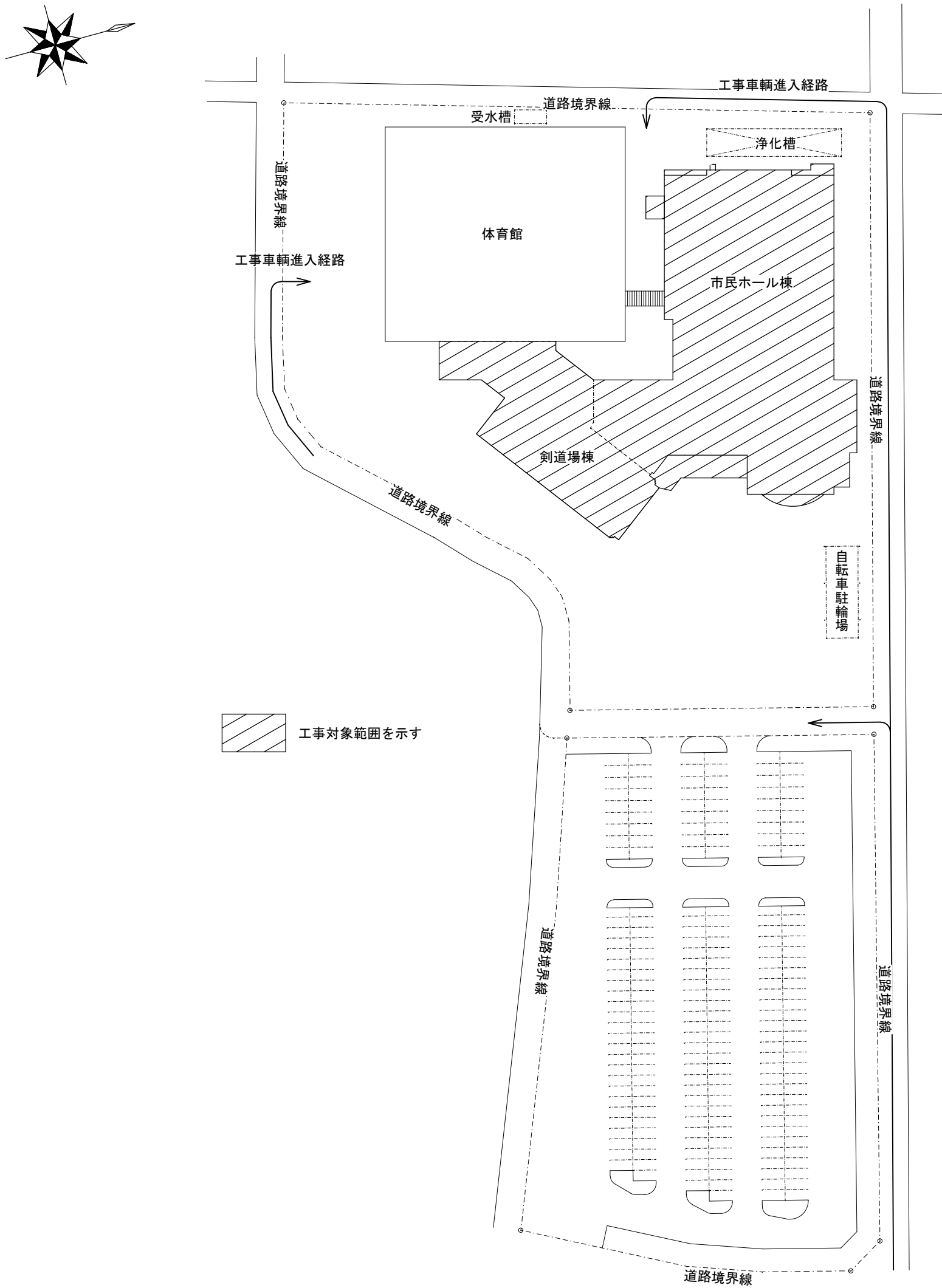
- ・既設の空調設備を撤去の上、機器の新設を行う。
※更新箇所は図示による

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。
- ・本工事は、平日作業可とするが、施設運営に支障のない範囲（騒音・振動の無い作業に限る）とする。
騒音を伴う作業を行う工程は施設管理者と協議のうえ決定すること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。
なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工事用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・剣道場棟は空調停止期間を令和4年11月1日以降として計画し、令和4年12月中旬までに中間検査を受け、引渡しすること。
- ・市民ホール棟は空調停止期間を令和5年1月以降として計画すること。
- ・工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び 工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

(解体撤去処分)

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、 manifests A、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(令和2年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。



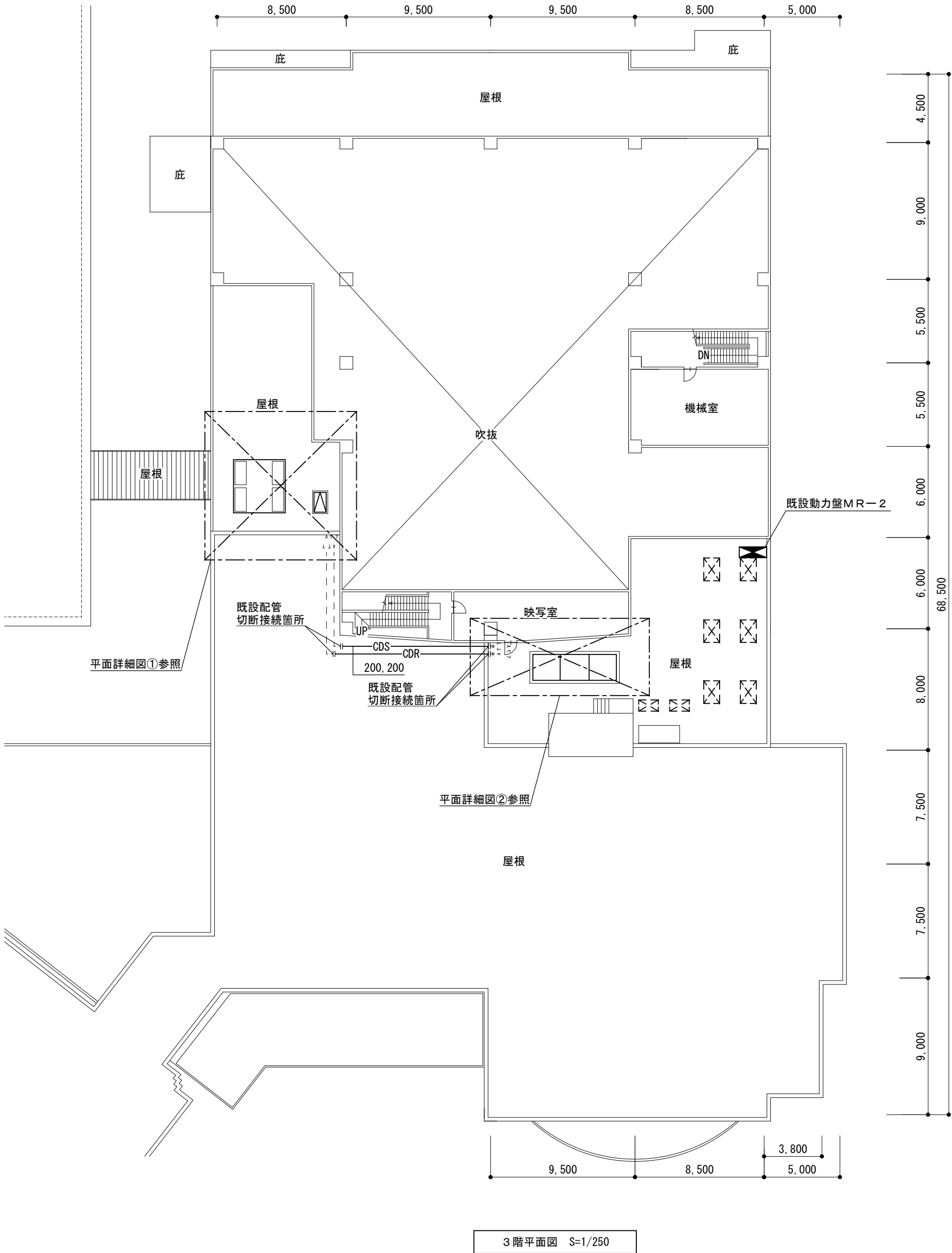
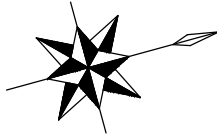
工事対象範囲を示す

配置図 S=1/1000

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」
独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市芸濃総合文化センター空調設備改修工事		縮尺 1/1000
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 1/8



3 階平面図 S=1/250

既設撤去機器

記 号	機器名称	仕 様	電 源	数
RB-1	吸収冷温水機	形式 二重効用灯油炊き(ユニット形) 冷却能力 200RT(80+60+60RT) 加熱能力 292,140kcal/h 付属品 補機動力制御盤、感震器、防振架台 凍結防止スイッチ、遠隔操作盤×3 他一式 品番：RTC-2007PUWC（株式会社東芝）	3 φ 200V	1
CT-1	冷却塔	形式 角形クロスフロー方式超低騒音型 送風機 2.2kW×2 冷却能力 1,096,992kcal/h 循環水量 3,047.2l/min 付属品 防振架台 他一式 品番：CH-V200U866（矢崎総業株式会社）	3 φ 200V	1
PCD-1	冷却水ポンプ	口径：125×100A 吐出量：3047l/min 揚程：25mAq 付属品 圧力計、防振架台、全閉外扇モーター 他一式 品番：GEL1256BM4ME18（株式会社川本製作所）	3 φ 200V 18.5kW	1
特 記 1.既設機溶液（吸収液）を回収し、適正に処分を行うこと。				

新設機器

記 号	機器名称	仕 様	電 源	数
RB-1	吸収冷温水機	形式 二重効用灯油炊き(200USRT(80+60+60))水平震度=1.5G 冷却能力 703kW 加熱能力 792kW 冷温水水量 733 l/min 冷温水温度 冷水出口温度 7.0℃ 温水出口温度 55.0℃ 冷却水入口温度 32.0℃ 付属品 補機動力制御盤、感震器、防振架台 凍結防止スイッチ、遠隔操作盤×3 他一式	3 φ 200V	1
CT-1	冷却塔	形式 超低騒音型角形(開放式) 水平震度=1.5G 冷却能力 1062.9kW 循環水量 3,047 l/min 冷却水出口温度 32.0℃ 付属品 防振架台 他一式	3 φ 200V	1
PCD-1	冷却水ポンプ	口径：125×100A 吐出量：3047l/min 揚程：25mAq 水平震度=1.5G 付属品 圧力計、防振架台、全閉外扇モーター 他一式	3 φ 200V 18.5kW	1
特 記 1.機器の製作仕様は公共建築仕様とし、グリーン購入基準(IPLV=1.45以上)適合品とする。 2.電源の周波数は60Hzとする。 3.冷却能力及び加熱能力は記載値以上とする。 4.冷却塔の外気湿球温度条件は27.0℃(WB)とする。 5.機器の据付はSUS製アンカーボルトとし、ダブルナットにて締め付けること。 6.機器は屋外設置とする。既設基礎流用とする。 7.設置後に室内外機器の調整を行い、動作確認を行うこと。 8.自動制御線及び制御盤用配線は既設配線を再利用の上、接続すること。 9.系統が分かるように文字書き・矢印記入・バルブレ取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。				

※自動制御設備既設メーカー：株式会社オーテック

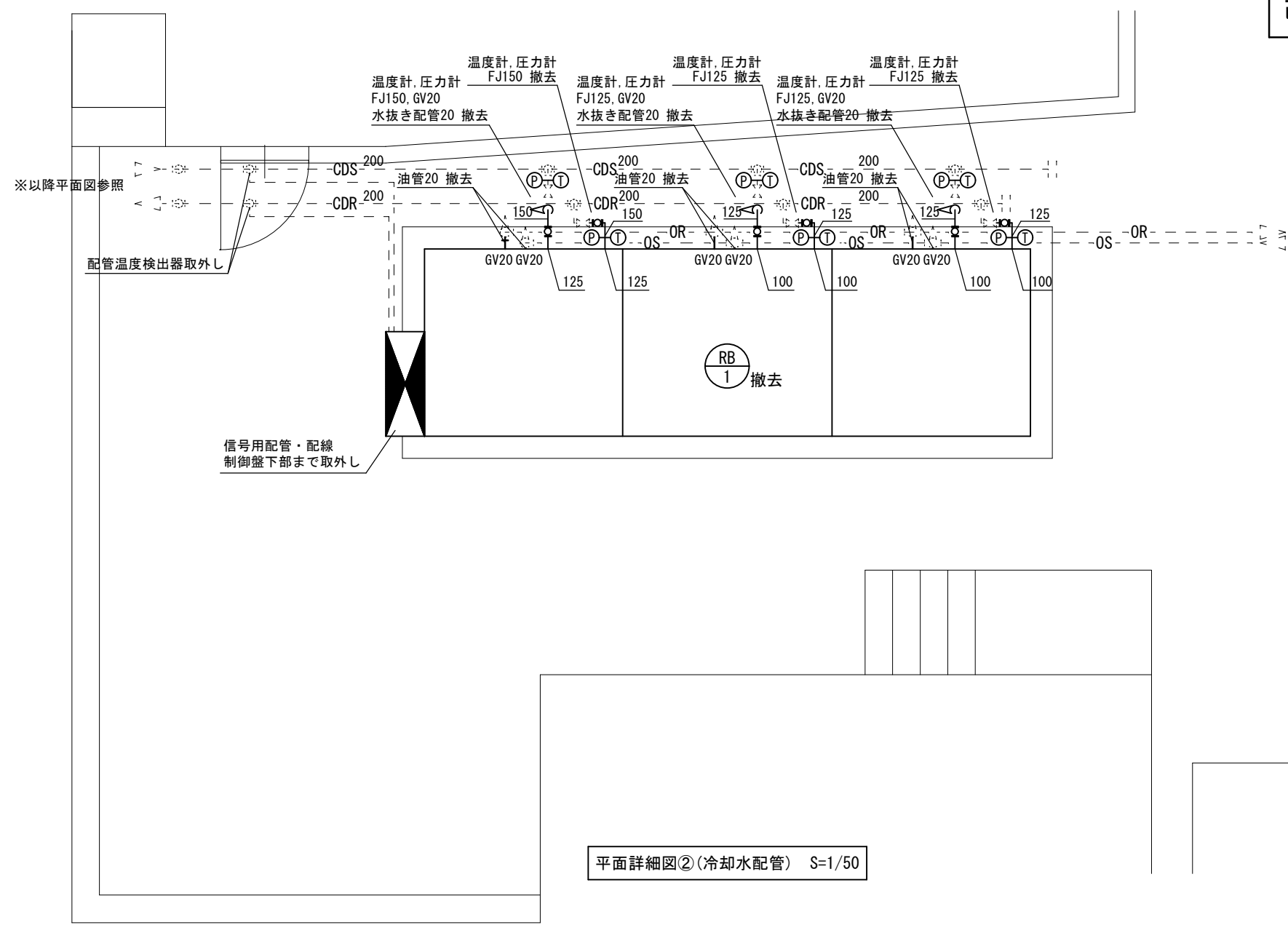
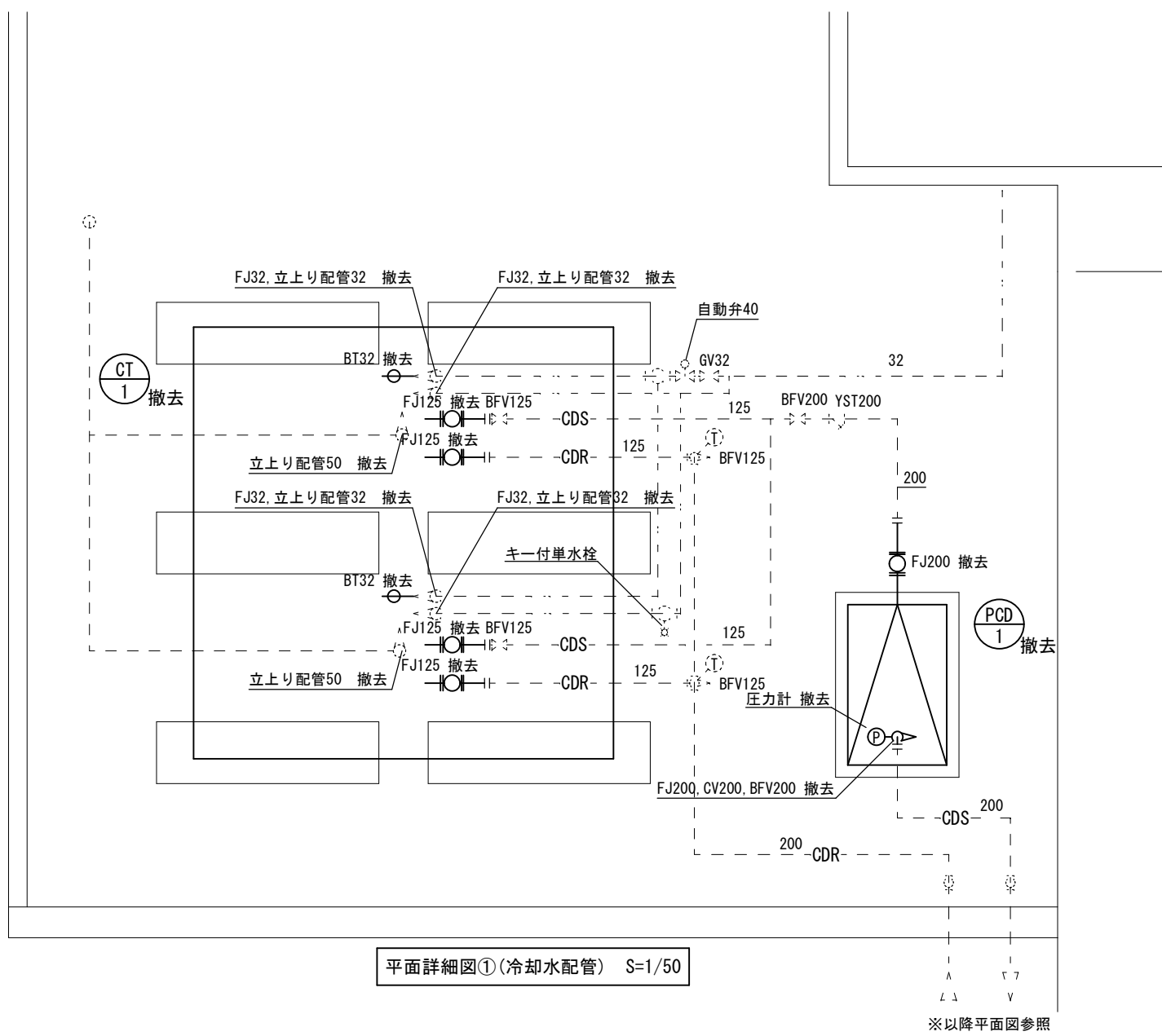
凡 例

記 号	名 称
——	新設配管
-----	既設配管
--- ---	既設配管・新設配管切断接続部分
—— - ——	給水管 SGP-VB
——CDS——	冷却水(往) 炭素鋼鋼管(白)
——CDR——	冷却水(還) 炭素鋼鋼管(白)
——CHS——	冷温水(往) 炭素鋼鋼管(白)
——CHR——	冷温水(還) 炭素鋼鋼管(白)
——O——	油管 炭素鋼鋼管(黒)
——	排水管 VP
□	フレキシブルジョイント
⋈	弁類
∩	逆止弁
⊙	ポンプ類
①	温度計
②	圧力計

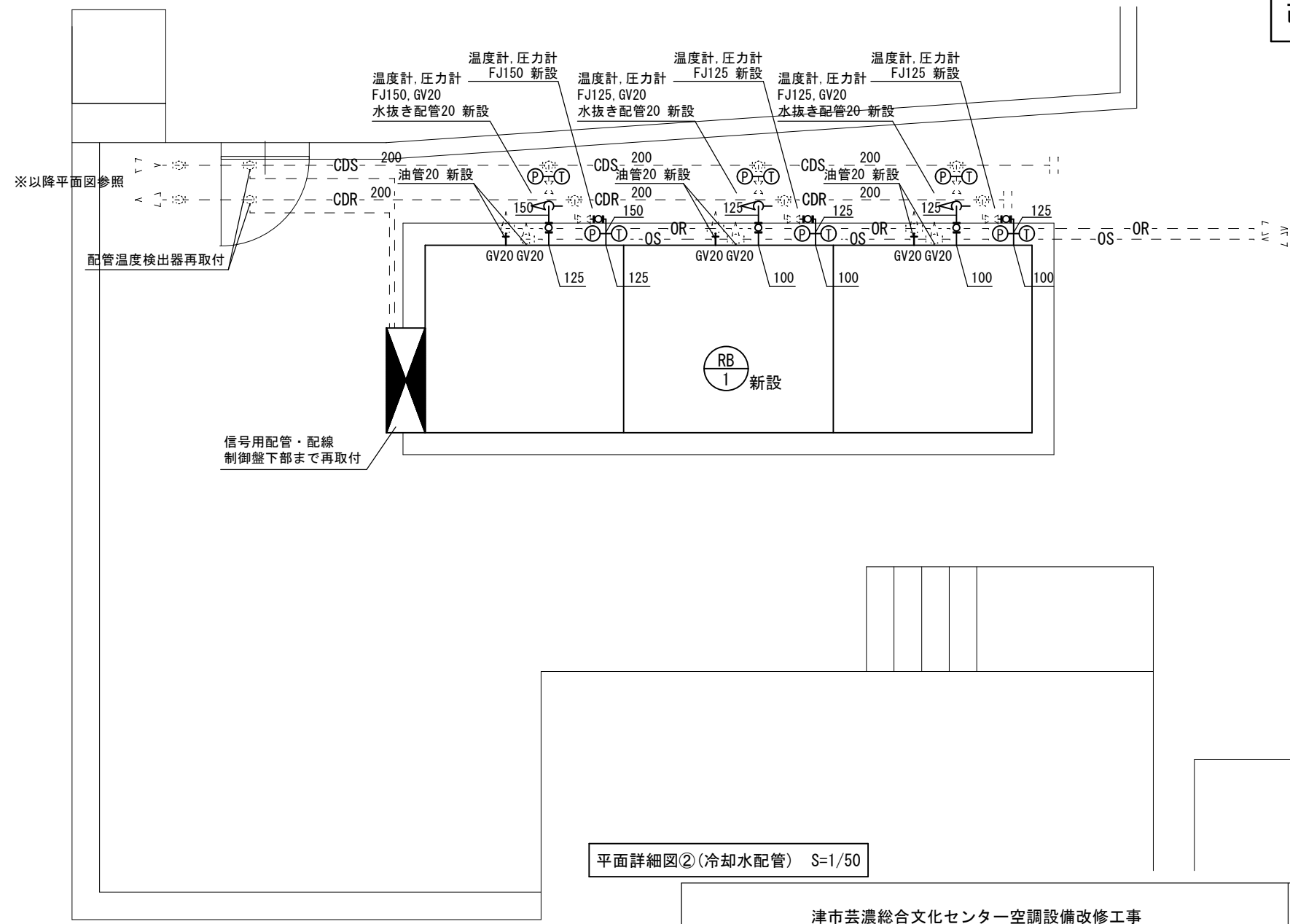
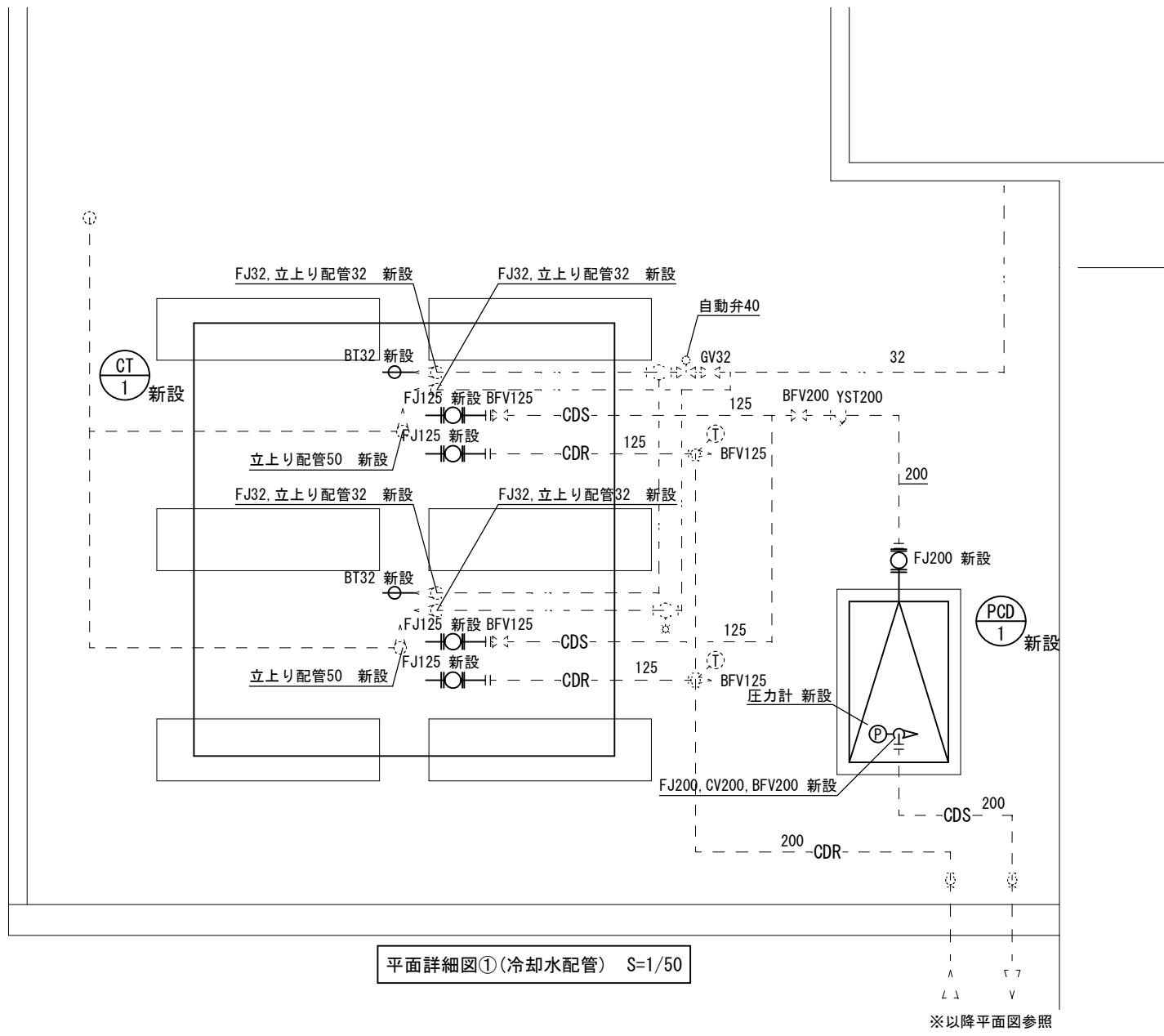
※保温仕様は以下とする。
給水管 屋外露出：ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ
冷温水管 屋外露出：ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ
※冷却水配管は塗装を行うこと。

津市芸濃総合文化センター空調設備改修工事		縮尺 1/250
図面名称	市民ホール棟 3 階平面図	原図：A 2
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. 2/8

改 修 前

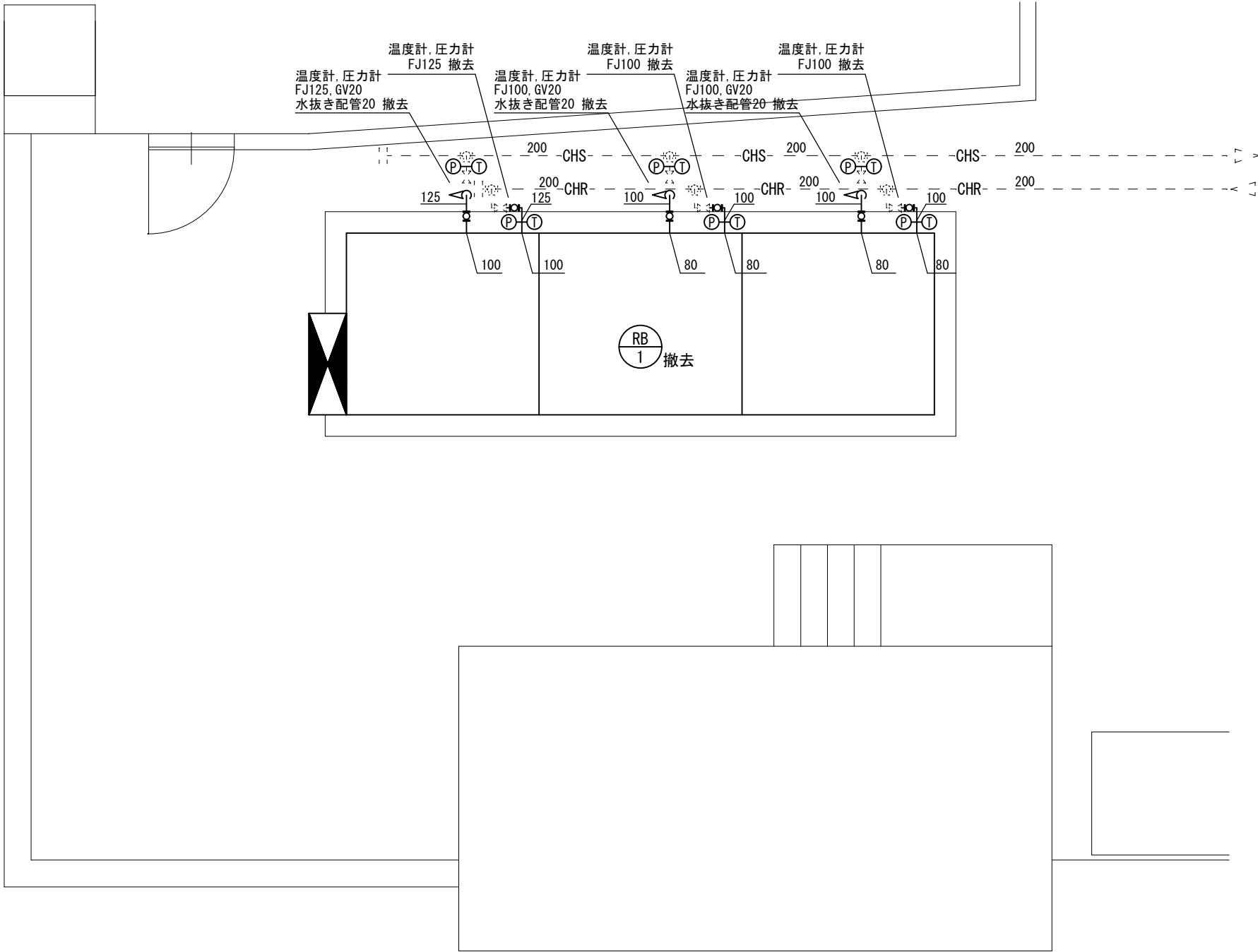
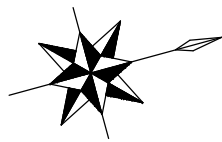


改 修 後



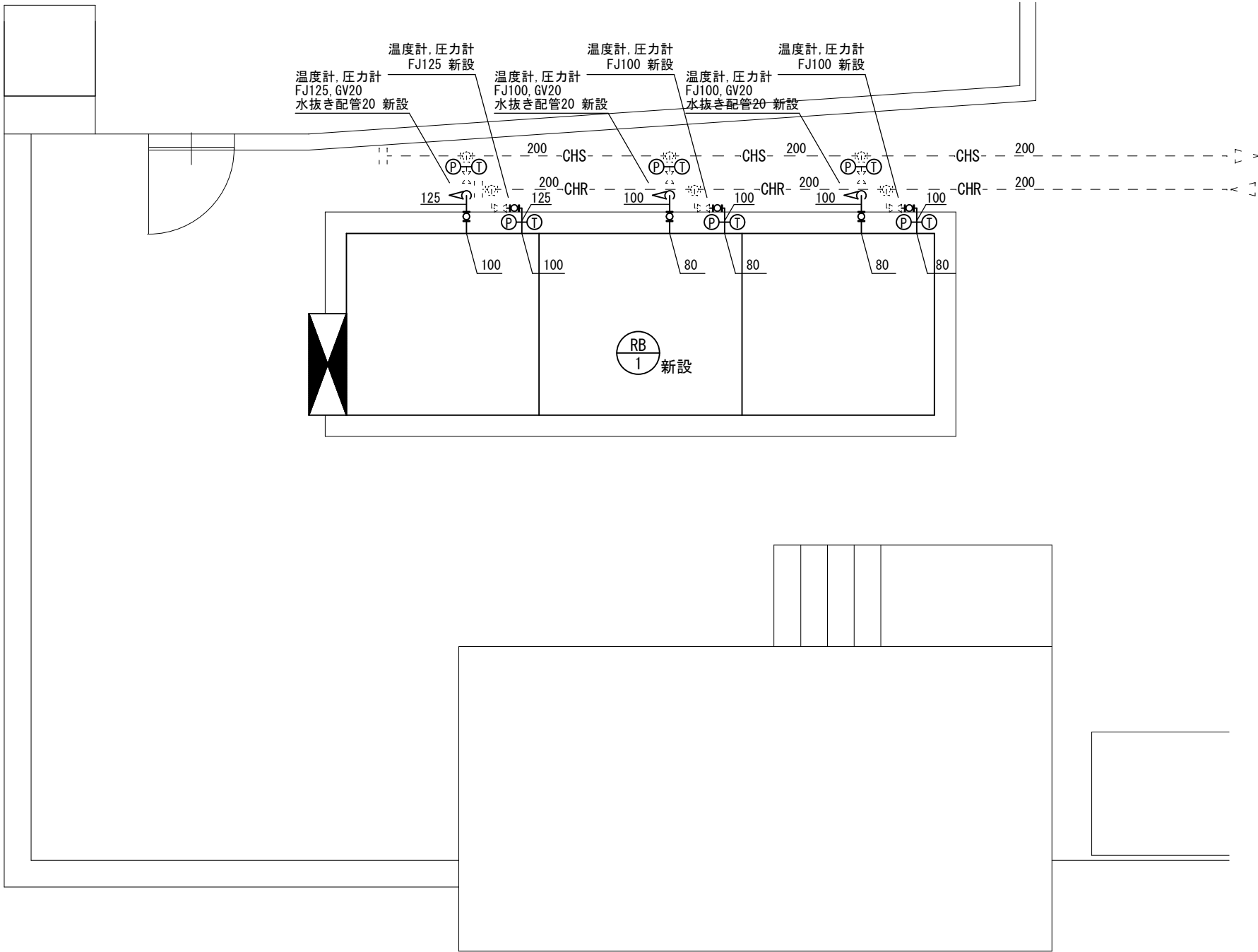
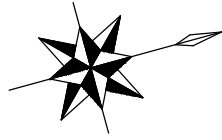
津市芸濃総合文化センター空調設備改修工事		縮尺
		1/50
図面名称	市民ホール棟 平面詳細図①・②(冷却水配管)	原図：A 2
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. 3/8

改 修 前



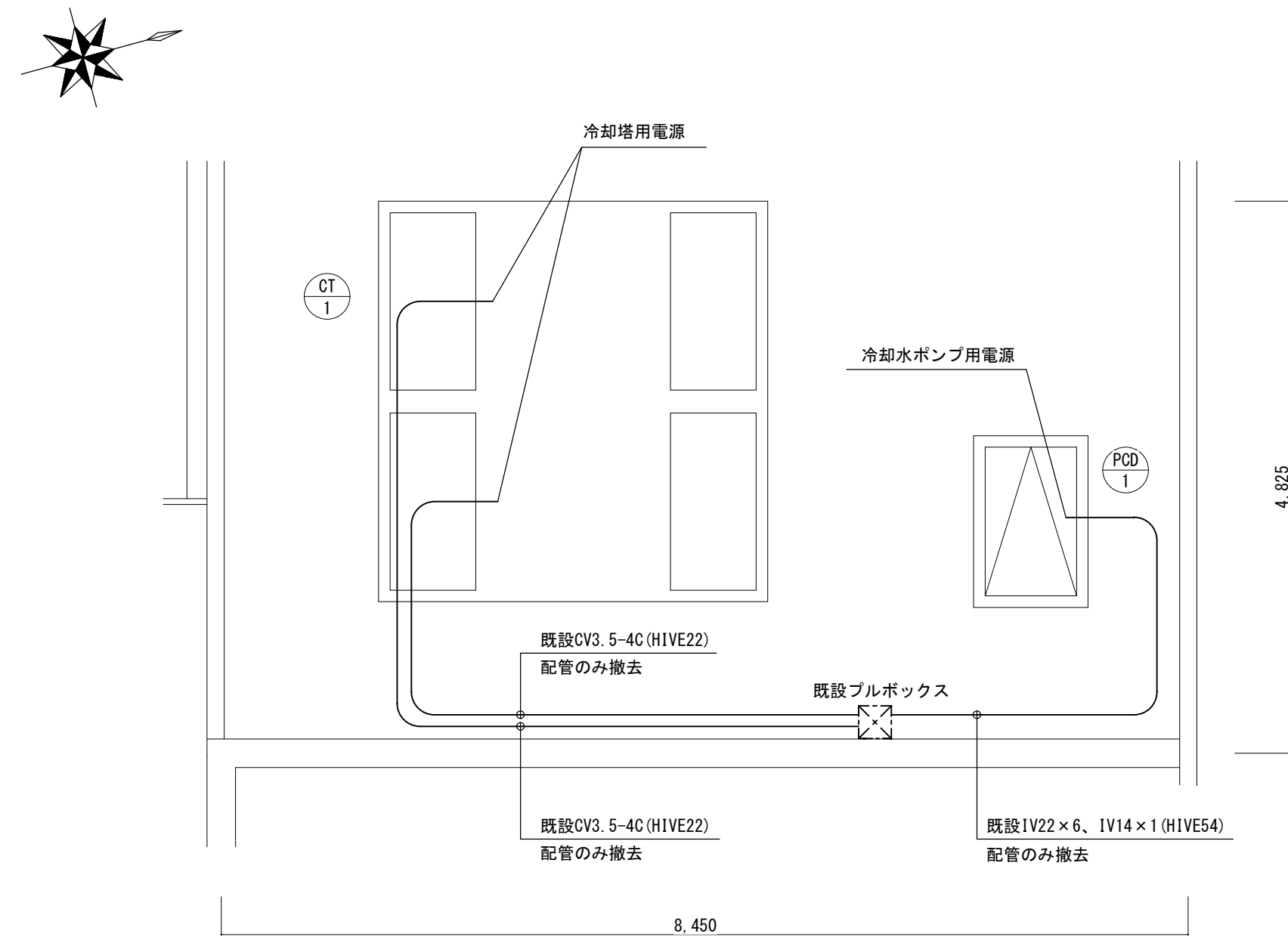
平面詳細図② (冷温水配管) S=1/50

改 修 後

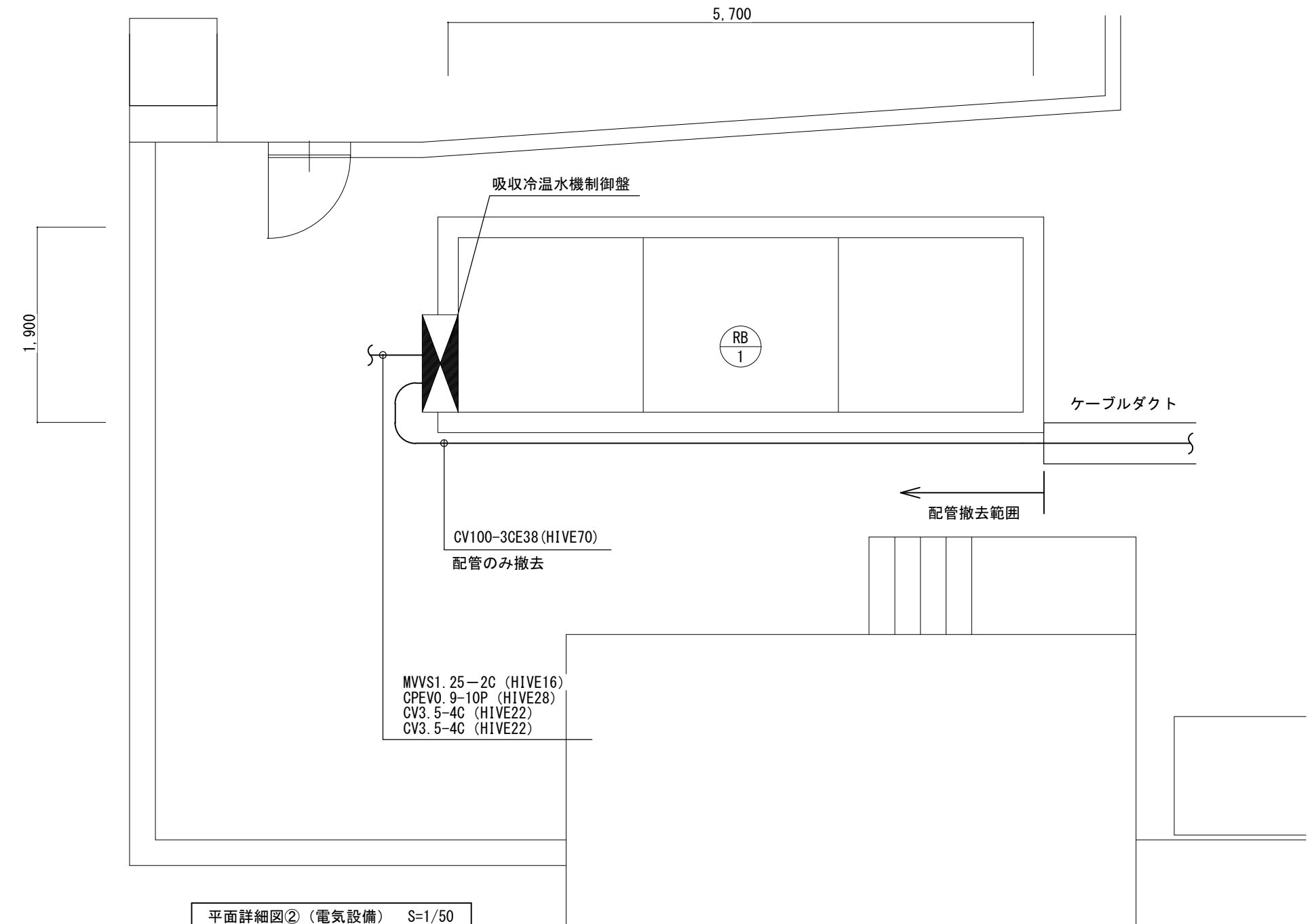


平面詳細図② (冷温水配管) S=1/50

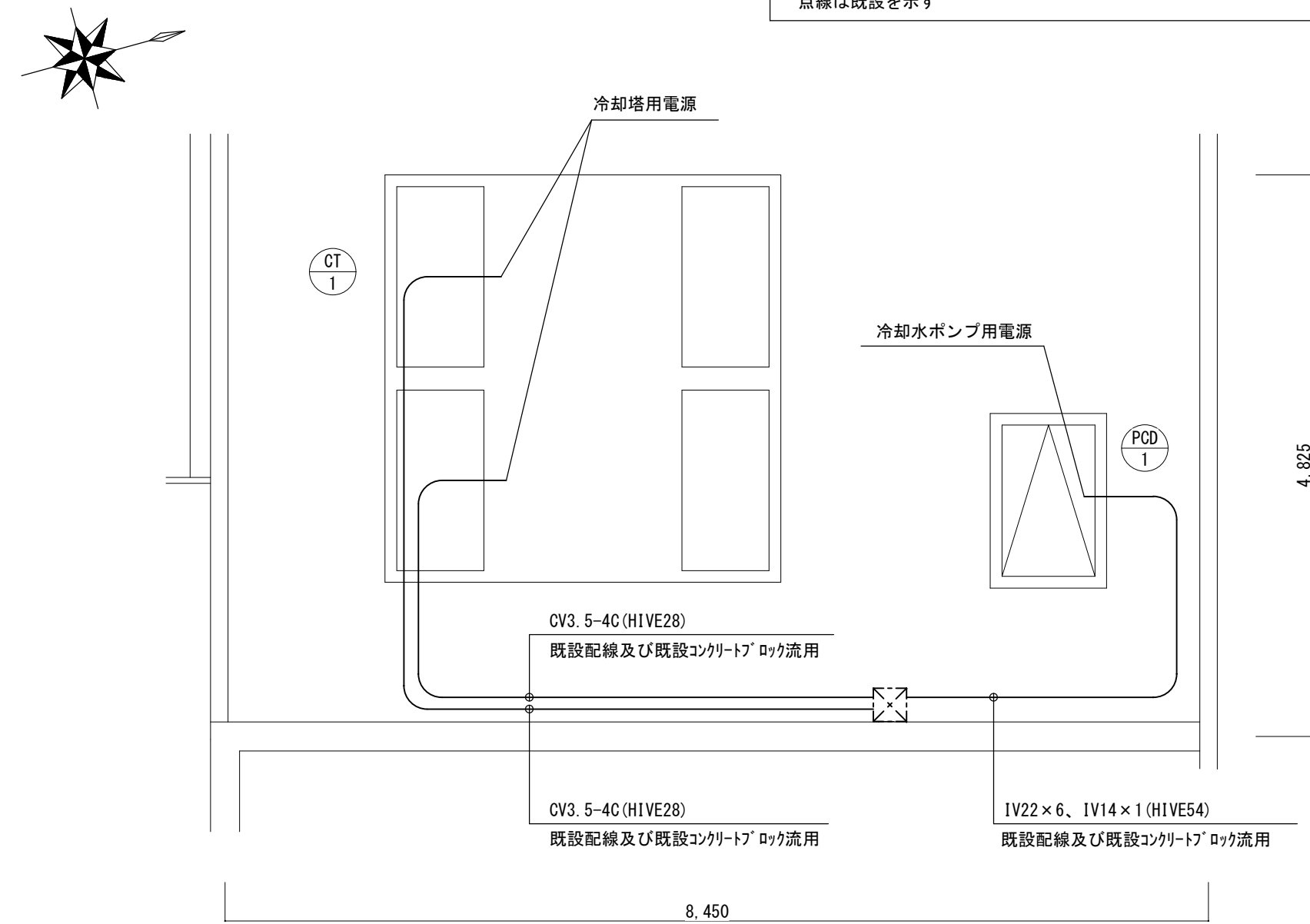
津市芸濃総合文化センター空調設備改修工事		縮尺 1/50
図面名称	市民ホール棟 平面詳細図②(冷温水配管)	原図：A 2
		No. 4/8
津 市 建 設 部 営 繕 課		



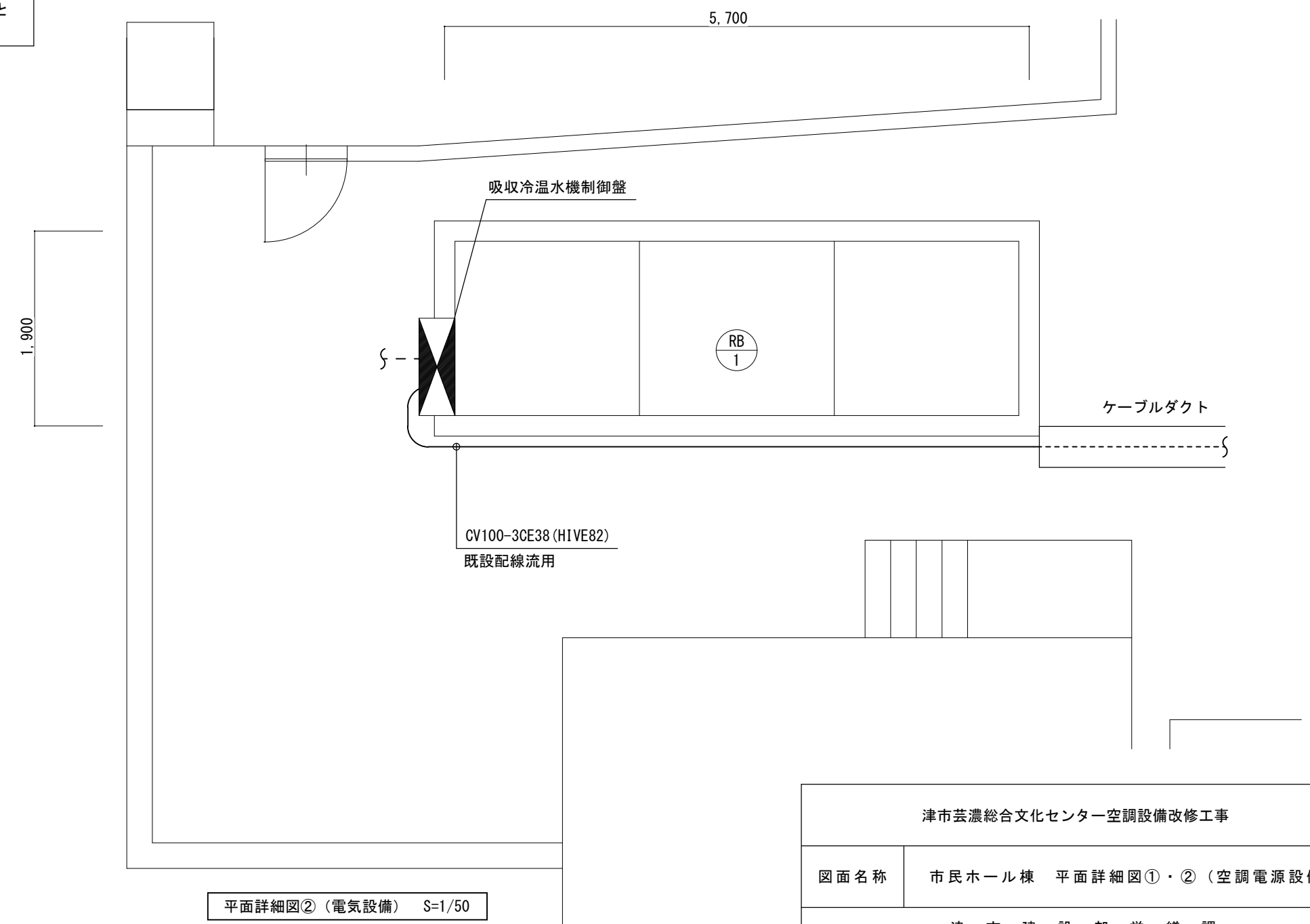
平面詳細図①（電気設備） S=1/50



平面詳細図②（電気設備） S=1/50

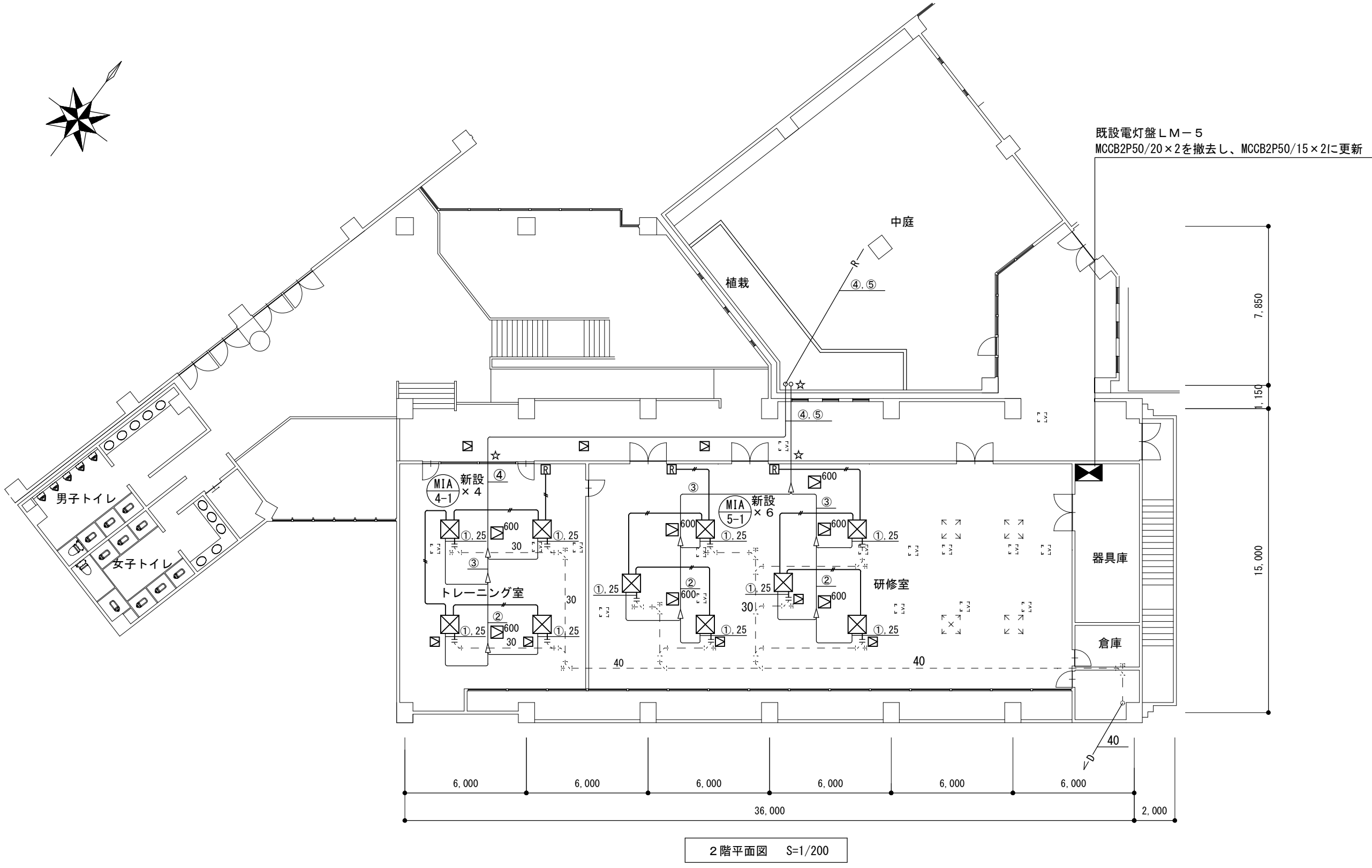


平面詳細図①（電気設備） S=1/50

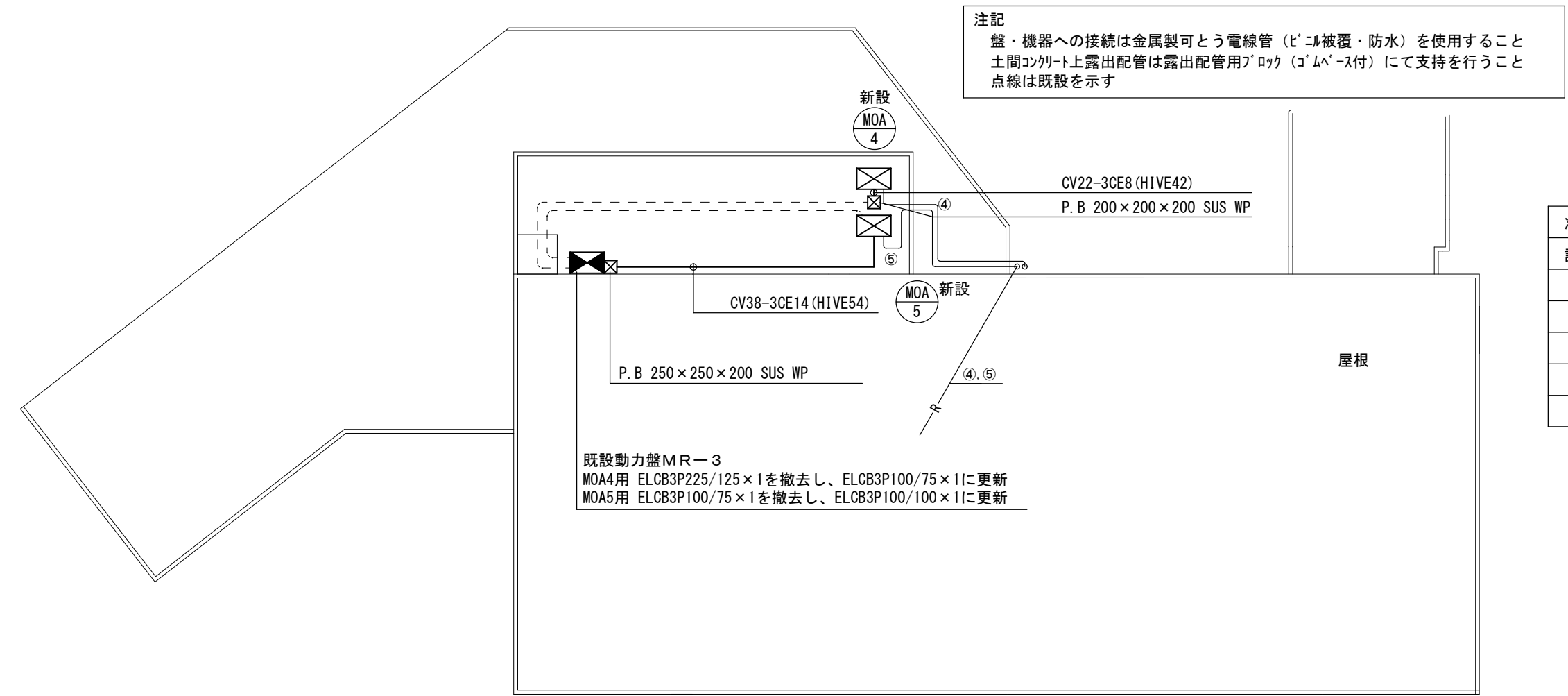


平面詳細図②（電気設備） S=1/50

津市芸濃総合文化センター空調設備改修工事		縮尺 1/50
図面名称	市民ホール棟 平面詳細図①・②（空調電源設備）	原因：A 2
		No. 5/8
津市建設部営繕課		



2階平面図 S=1/200



屋上平面図 S=1/200

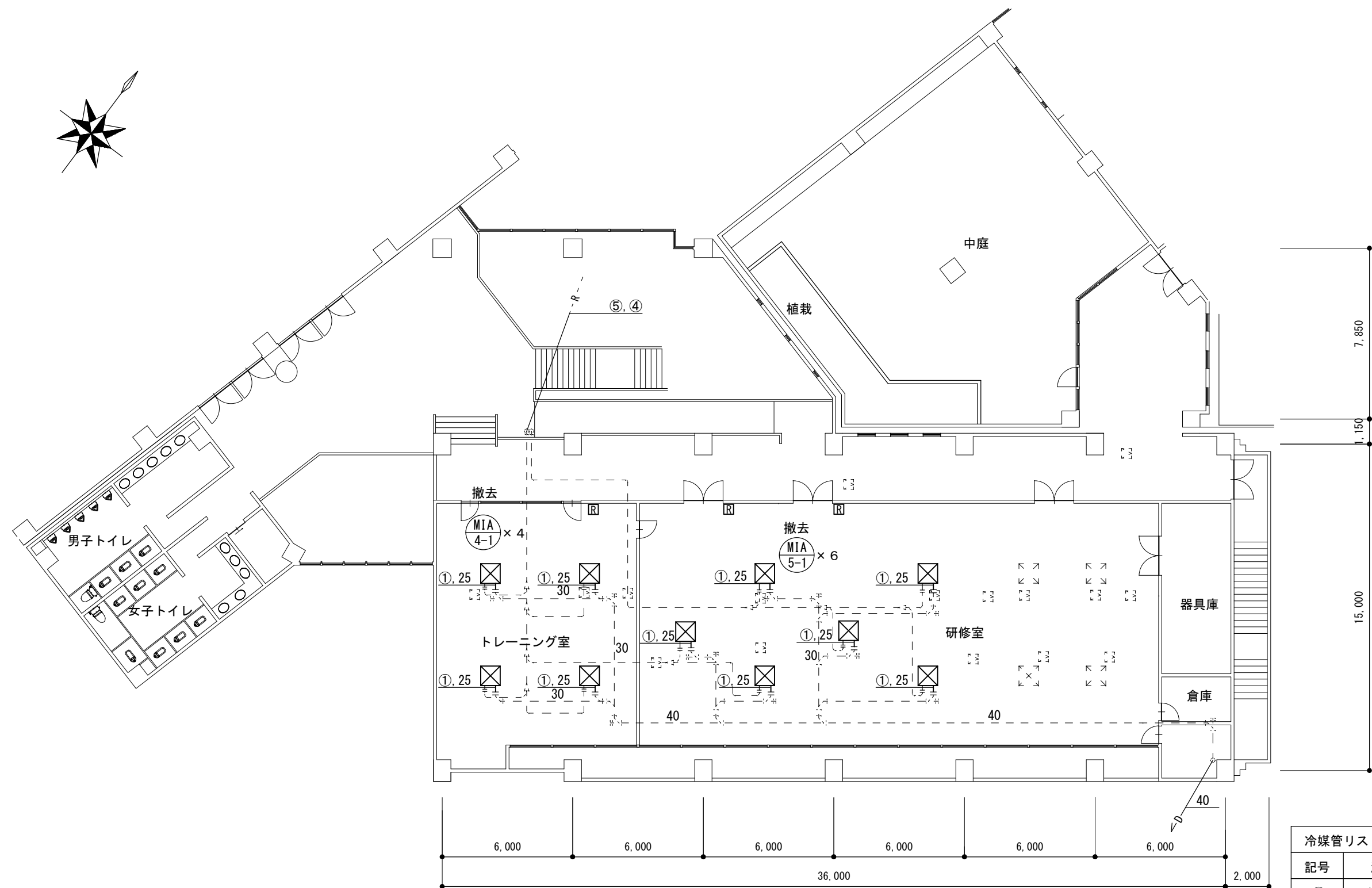
空調機器表（新設）空冷ヒートポンプ式				
記号	形式・名称	仕様		台数
MOA-4	ビル用マルチエアコン	冷房能力：40.0kw	暖房能力：45.0kw	1
	室外機（新設用）	3相200v	水平震度 Kh=1.5	
		室外機基礎：既設基礎流用	防振架台	
MIA4-1	ビル用マルチエアコン	冷房能力：9.0kw	暖房能力：10.0kw	4
	室内機（天力セ形4方向）	単相200v	標準パネル	
MOA-5	ビル用マルチエアコン	冷房能力：56.0kw	暖房能力：63.0kw	1
	室外機（新設用）	3相200v	水平震度 Kh=1.5	
		室外機基礎：既設基礎流用	防振架台	
MIA5-1	ビル用マルチエアコン	冷房能力：9.0kw	暖房能力：10.0kw	6
	室内機（天力セ形4方向）	単相200v	標準パネル	
RC	ワイヤードリモコン			3
特記事項				
運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。				
空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。				
機器は同等品以上とする。また、グリーン購入法基準を適用するものとする。				
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。				

凡例		
図示記号	名 称	備考
——	新設配管	
- - - -	既設配管	
- - + -	既設配管 新設配管接続部分	
—— R ——	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管：10mm（ただし、φ10未満は8mm） ガス管：20mm 保温仕様 屋外露出：ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ
—— D ——	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 天井内：グラスウール+アルミガラスクロス化粧保温筒
—— // ——	リモコン線	CVV-S1.25-2C 天井ころがし
[R]	新設ワイヤードリモコン	
[X]	新設天井点検口	□450
[X]600	新設天井点検口	□600
[X]	既設天井点検口	□450
☆	コア抜き	

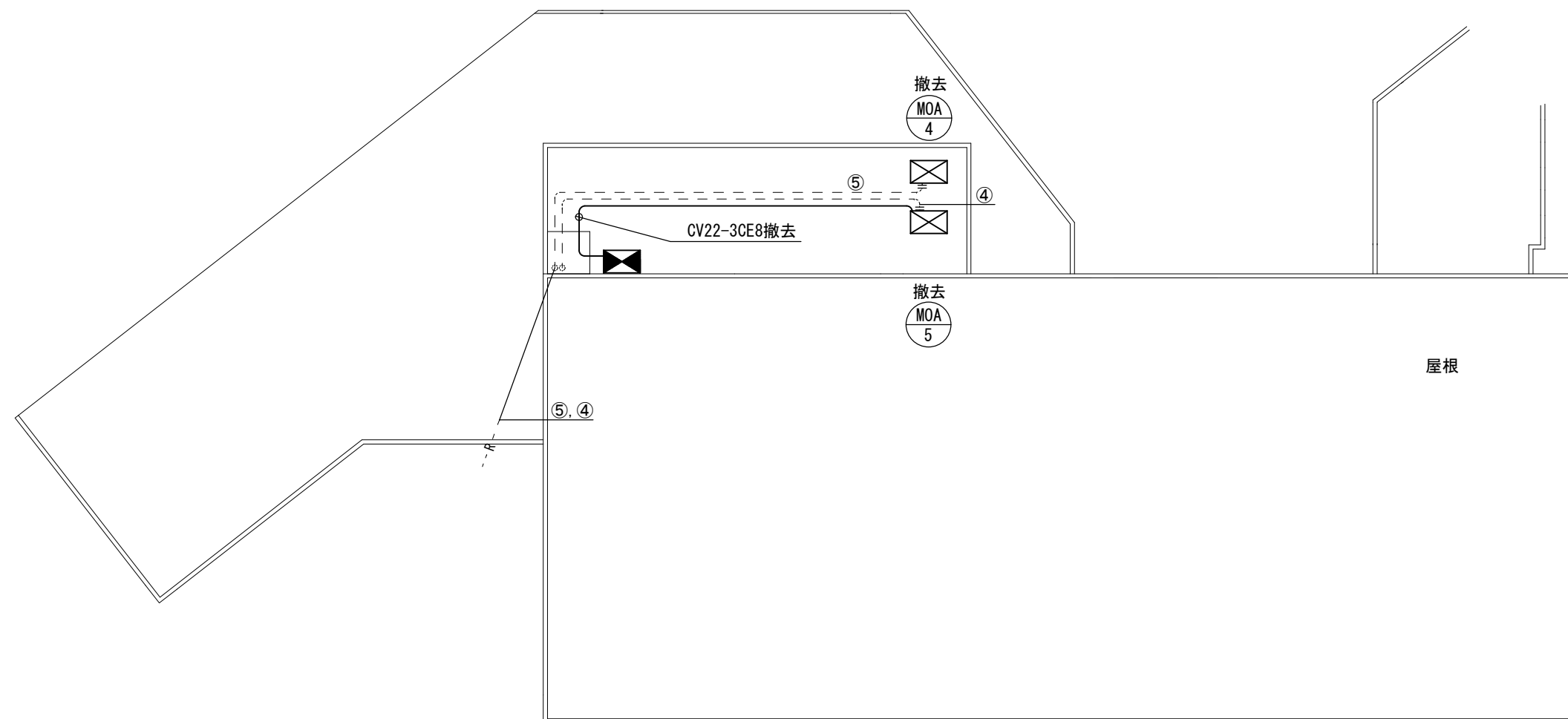
冷媒管リスト			
記号	液管	ガス管	渡り配線
①	φ9.52	φ15.9	CVV-S1.25-2C
②	φ9.52	φ19.1	CVV-S1.25-2C
③	φ9.52	φ22.2	CVV-S1.25-2C
④	φ12.7	φ25.4	CVV-S1.25-2C
⑤	φ15.9	φ28.6	CVV-S1.25-2C

空調設備工事要領	
1. 空調室内外機の撤去新設をおこなう。	
2. 冷媒管、室内外連絡線、リモコン制御線は新設する。	
3. 既設のワイヤードリモコンを撤去し、新設する。	
4. ドレン管は撤去した機器に接続されていた既設配管に接続する。	
5. ドレン管は切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。	
6. 冷媒管・既設配線は切り離し後、端末処理を行い残置とする。	
7. 室外機はSUS製プレートにて固定、ワットにて締付けること。	
8. アンカはスリットアンカーとし、防振ゴムシート（t=10以上）を敷くこと。	
9. 室内機は耐震振れ止めを施す事。	

津市芸濃総合文化センター空調設備改修工事		縮尺 1/200
図面名称	剣道場棟 2階・屋上平面図・機器表(改修後)	原図：A 2
		No. 6/8
津 市 建 設 部 営 繕 課		



2 階平面図 S=1/200

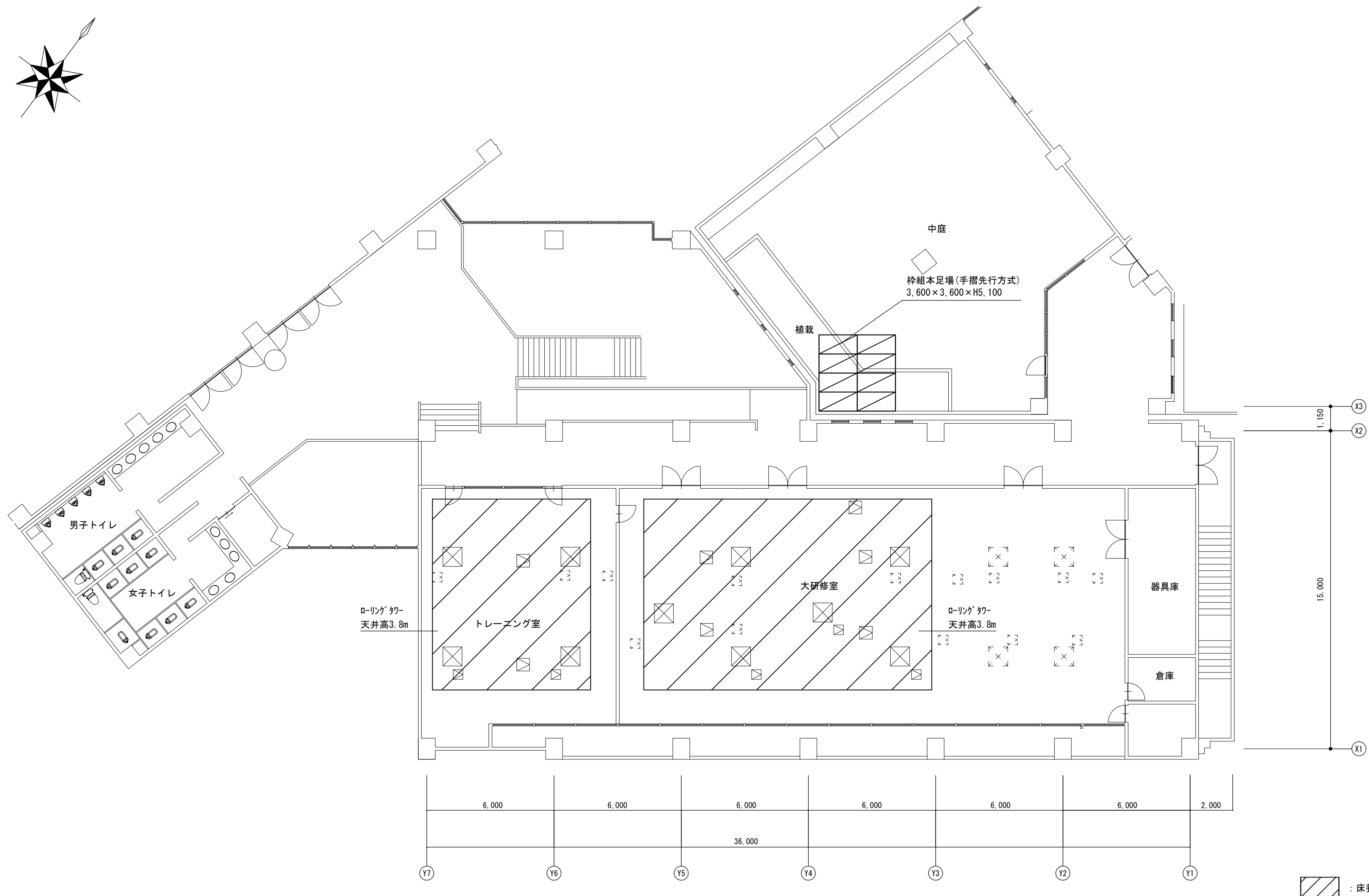
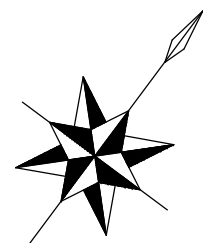


屋上平面図 S=1/200

凡 例		
図示記号	名 称	備考
	撤去配管	
	既設配管	
	既設配管 撤去配管切断部分	
	冷 媒 管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管 : 10mm (ただし、φ10未満は8mm) ガス管 : 20mm 保温仕様 屋外露出 : ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ
	ドレン 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 天井内 : グラスウール+アルミガラスクロス化粧保温筒
	既設ワイヤードリモコン	
	既設天井点検口	□450

空調設備工事要領
1. 空調室内外機の撤去新設をおこなう。
2. 冷媒管、室内外連絡線、リコン制御線は新設する。
3. 既設のワイヤードリコンを撤去し、新設する。
4. ドレン管は撤去した機器に接続されていた既設配管に接続する。
5. ドレン管は切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。
6. 冷媒管・既設配線は切り離し後、端末処理を行い残置とする。
7. 室外機はSUS製プレートにて固定、ワットにて締付けすること。
8. アンカーはケミカルアンカーとし、防振ゴムシート（t=10以上）を敷くこと。
9. 室内機は耐震振れ止めを施す事。

津市芸濃総合文化センター空調設備改修工事		縮尺 1/200
図面名称	剣道場棟 2階・屋上平面図・機器表(改修前)	原因：A 2
		No. 7/8
津市建設部営繕課		



2 階仮設図 S=1/150

津市芸濃総合文化センター空調設備改修工事		縮尺
		1/150
図面名称	剣道場棟 2 階仮設図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 8/8